

2020 東洋交通労働組合・共済組合 旗開き 新年会

2020年1月12日(日) 西台の王華にて2020年東洋交通労働組合・共済組合旗開き新年会が開催されました。来賓の方々を含む130名の方々に参加いただきました。

菊池執行委員長の挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げますとともに、

旧年中の組合活動へのご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《災害カンパについて》

昨年は台風・豪雨・河川の氾濫など、関東でも深刻な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に、一日も早い復旧・復興を心よりお祈りし、今年が災害の無い平穏な年であることを願っています。皆様の温かいご支援・ご協力により、災害カンパという形で支えることができましたことを心より感謝申し上げます。

《2019春闘・秋闘について》

昨年の春闘・秋闘では一昨年の事故罰課金の大幅減額と、懲戒処分の見直しに続き、春は例年通りの一時金と有給休暇と公出併用、秋はアクアラインの帰路会社負担とスタッドレス・オールシーズンタイヤの4輪シーズン装着など、一歩前進という結果となりました。2020年度出番表では年に3回の日曜日出番が盛り込まれ、皆様の心配や不安は年始から殺到しておりますが、詳細については1月31日、2月1日の明番集会にて説明をします。また、年始にお配りした出番表に不備が見つかり、確認不足だったことをお詫び致します。正しい出番表については、見やすく編集済みですので、組合のホームページにてダウンロードしご確認ください。2020年こそは大きな賃金・労働条件の改善を勝ち取れるよう、執行部も粘り

強く交渉を進めて参りますが、経営側も「東洋交通に入社して良かった」と幸せを感じられるような回答をお願いしたいと思えます。

《東洋交通について》

本塚所長と吉岡副所長を迎えて1年7カ月が経ちました。このところ、ようやく普通の協議が出来るようになってきたのかなと感じているところで、日本交通基準に併せたいという経営側の気持ちや、社長から強いられる努力は仕方ない事だと理解はしますが、東洋には東洋の文化があり、賃金・労働条件があります。誠実な協議を重ねなければ、勝手な変更はありえないという事はご理解願います。会社が東洋の問題点として挙げている「事故多発」については、組合としても公共交通機関として相応しい安全・安心輸送を守る為、事故を減らす努力には協力していきますが、東洋が日本交通と業務提携した当初から、品質でこの業界を生き残っていくという方針に変わりはありません。経営側は数字ばかりを追うあまり、品質を疎かにしているように感じます。もう一度初心に帰り、真のリーディングカンパニーの一員としての誇りを胸に労使ともども努力をしていきましょう。

《ライドシェアについて》

2020年、半年後にはオリンピック・パラリンピックが控えています。日本のタクシーは本当に世界一だったと思っ頂ける品質とサービスで「この国にライドシェアは必要ない」とお客様や世論に理解を得て、断固阻止していきましょう！



全自交東京地連 溝上委員長

全自交労連 松永書記長

来賓の挨拶

来賓として全自交 労連・松永次書記長、東京地連・溝上泰央委員長、岩手地本・森茂委員長を始め、改進黨員組合・大松啓治委員長、日交労赤羽支部・須藤支部長、経営側より 仲取締役、本塚所長、吉岡副所長、東洋交通労働組合元書記長・福島進氏、吉田ただとも参議院議

員よりそれぞれの立場からご挨拶を頂きました。松永書記長は都内で横行するCREWについて「組合員50人が登録したが、昨年3月以降、新たな利用実績はなく、調査が止まっている。配車はできるものの、その後のマッチングが出来ない状況だ。こちらの情報が把握されたものと考えられる。白タクをやらせてみたらとの意見を規制改革推進会議の一部役員が主張し、何とかゴリ押しを狙っているようだが、絶対に入れさせてはならない」とし、引き続き白タク阻止の運動継続に理解を求めました。岩手地本の森委員長は「3年前から声をかけて頂き、やっと参加することができた。東日本大震災から8年が経過し、昨年は台風被害も出し、地方ではタクシーで生活できないのが実態だ。岩手県では34地方議会のうち31議会で白タク合法化反対などの請願が採択された。今年もオリンピックまでが勝負だ、それが終わると大阪万博もある。共に闘い抜くことの意味統一をしたい」と訴えました。社民党の吉田ただとも参議院議員は鹿兒島の出張先からお祝いに駆けつけ、昨年の当選のお礼を兼ね、「東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて公共交通が抱える課題をしっかりと解決しなければならぬ。白タクは問題であり、世間に問題点を知らしめ、タクシー乗務員の生活権を守るために頑張る」と決意表明しました。

筒井書記長の乾杯の音頭で宴会が始まり、今回振る舞われた料理は前菜・王華自慢冷めても皮がパリパリの春巻き・豚ヒレ肉のフリッター・ブリブリのエビチリ・贅沢フカヒレの姿煮入り茶碗蒸し・お箸で切れる牛タンの柔らか煮込み・五目炒飯・杏仁豆腐と、今年はいつも以上に料理の評判も良く、参加者からは「とても美味しかったです」と満足の声が上がりました。今年も岩手地本の森委員長から岩手の地酒を頂き、参加者全員に振る舞われ、逆の出番者、普段話すことのない先輩達と新人組合員が丸テーブルを囲んでコミュニケーションを図り、盛り上がりがありました。



参加者のうち10名の方が年男(子年)でした。菊池執行委員長からお祝いの紅白饅頭が贈られました。幸多き1年でありますように！



毎年恒例のビンゴ大会では、108名中73名が当選という高確率で大盛況となりました。目玉の景品はダイソンの掃除機、翻訳機の「ポケットーク」となりましたが、ブランドのバッグや、財布、電化製品などの他に、ユニクロギフトカードや「いきなりステーキ」のギフトカードなどの豪華賞品を取り揃えました。ビンゴしたらくじを引き、何が当たるかわからないのがこのゲームの楽しさですが、最後まで豪華景品が残り、今年は高価なシェーバーが若手女性に、特賞と「大人の粗品」が同時に当たるなど、会場が沸く楽しいビンゴ大会となりました。

初めて参加した新人組合員がかなりの高確率で商品を引き当て、とても楽しんでいただけようです。是非来年も、同期の仲間をお誘いあわせの上、参加して頂ければ幸いです。今年もライドシェアII白タク合法化阻止、東洋交通の労働条件の更なる改善に向けて、新たな一年を闘い抜くことを意思統一し、岩瀬副委員長の本一本締めで閉会の運びとなりました。2021年の新年会・旗開きは1月10日に開催します。一年間、法令遵守で全員が笑顔で新しい年を迎えられるよう頑張ろう！



今年のビンゴ大会も高確率・ハズレ無し！岩手地本の森委員長から岩手地本賞、王華さんから王華賞も盛り込んでいただきました。ありがとうございました！

